

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和2年7月17日（金）

### 2 確認箇所

- ・5／6号機北側造成地（減容処理設備建設予定地）
- ・大型機器メンテナンス建屋

### 3 確認項目

- （1）減容処理設備建設工事の状況並びに地盤改良の状況
- （2）大型機器メンテナンス建屋内休憩所の状況

### 4 確認結果の概要

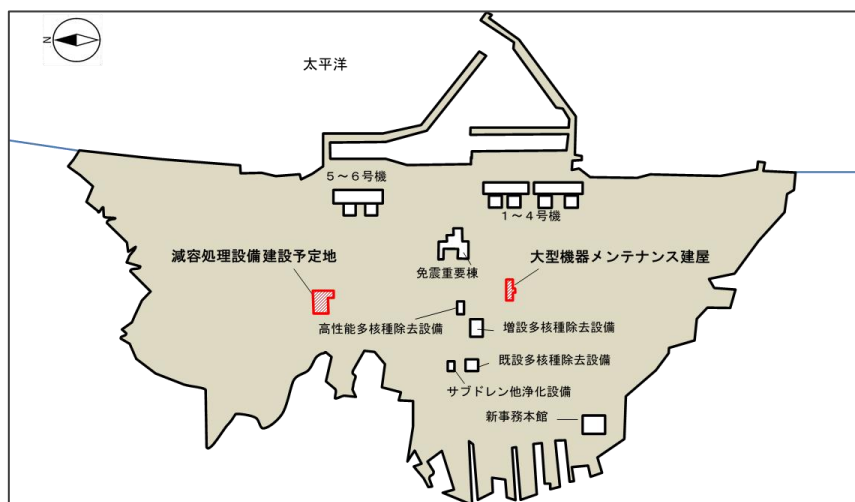
- （1）減容処理設備建設工事の状況並びに地盤改良の状況について

福島第一原子力発電所では、廃止措置に向けた取り組みをすすめているが、この中で事故後に発生したガレキ等の保管をより適正に行うため、廃棄物関連設備の新設・増設を計画している。

敷地北側の造成地において建設が予定されている減容処理設備\*について、準備工事として地盤改良工事が開始されていることから状況を確認した。（図1）

- ・現場確認時に作業は行われていなかったが、単管パイプ等の仮置きエリアが設置されており、単管パイプのバリケードが減容処理設備建設予定地内に設置されていた。（写真1）

※ 減容処理設備：ガレキ類のうち金属を切断処理、コンクリートを破碎処理するための設備であり、処理容量は金属が約60 m<sup>3</sup>/日、コンクリートが約40 m<sup>3</sup>/日であり、建屋は遮へい機能と十分な強度を有する構造となっている。



（図1） 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
減容処理設備建設予定地



(写真1-2)  
設置されていた単管パイプの  
バリケード

(2) 大型機器メンテナンス建屋内休憩所の状況について

大型機器メンテナンス建屋内の休憩所を使用する際は、汚染のないことを確認するため、毎日1回、表面汚染密度と空気中放射性物質濃度を測定することが実施計画に定められているが、測定の未実施日があることが確認されたことから、同休憩所の状況を確認した。(図1、写真2)

- ・同休憩所は大型機器メンテナンス建屋2階に設置されており、同休憩所の休憩スペースは汚染のおそれのないエリアとして運用されていた。

(写真3)

- ・東京電力によると7月1日については表面汚染密度と空気中放射性物質濃度測定の両者が実施されておらず、7月3日及び6日については、空気中放射性物質濃度の測定のみが実施されていなかったが、7月7日以降は、両者の測定を行っており、問題のないことを確認しているとのことであった。今後、原因調査・要因分析を行い、適切に対策を講じるとのことであった。



(写真2)  
大型機器メンテナンス建屋概観



(写真3)  
休憩スペースの状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。